

競技注意事項

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

競技開始30分前までは競技場内で練習を行ってもよい。ただし、各自が出した用器具については、必ず元の場所に返却すること。

フィールド種目については、競技開始60分前から現地にて練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響が出ないように、審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

3 アスリートビブスについて

アスリートビブスは、指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背に付けること。ただし、跳躍競技に出場する選手はどちらか一方でよい。

トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツ・ショーツ・スパッツの左右横やや後方につけること。競技終了後に所定の場所に返却すること。

3000m以上の種目は別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードは招集所にて配布する。

4 選手招集について

選手招集は、100mスタート側の用器具倉庫横とする。

招集時刻は、競技時間を確認すること。ただし、フィールド種目については、現地で招集を行う。

参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。

招集完了時刻に遅れたものは、棄権とみなす。

リレーのオーダー表は、招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。

2種目を同時に兼ねて出場する選手は、競技者係および該当種目審判員に申し出ること。

5 競技について

競技順はプログラム記載の番号順とする。

トラック競技の不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目から失格とする。

スターターの合図は、イングリッシュコマンドとする。

短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンをあける。

競技場内での跳躍・投てきの練習は、審判員の指示によって行う。

6 競技用具について

競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ポール・やりは検定において合格したものに限り使用が認められる。ポール・やりの検査は最終点呼時に担当審判員が行う。

練習用としても、個人の用具を競技場内に持ち込んではいならない。

7 跳躍競技について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、以下の通りとする。

走高跳	男子：135cm練習	140cm～180cm	5cm刻み	以降	3cm刻み
	女子：115cm練習	120cm～145cm	5cm刻み	以降	3cm刻み
棒高跳	男子：250cm練習	260cm～	10cm刻み		
	女子：190cm練習	200cm～	10cm刻み		

三段跳の踏切位置は、男子 11m00 女子 9m00 とする。

8 その他

やむを得ず棄権するときは、必ず競技者係に申し出ること。

10名以上の選手が参加するチームは、審判及び補助員をお願いします。

応急処置を要する健康上の問題が生じたときは、本部まで連絡すること。

記録の掲示については、正面出入口付近に掲示を行います。

表彰式は行いません。競技結果の発表終了後30分を目途に本部まで取りに来てください。

9 補助員について

出発	4名	城東中2名・南宇和高2名
決勝・計時	2名	城南中2名
記録・情報	2名	宇和高2名
競技者	6名	吉田高2名・御荘中2名・SSC2名
スターター	6名	八幡浜高2名・川之石高2名・宇南中等高2名
跳躍	8名	八幡浜高4名・南宇和高2名・吉田中2名
投てき	8名	内子高4名・宇和島東高2名・八幡浜2名
周回	2名	津島中2名
用器具	10名	宇和高4名・宇和島東高4名・城北中2名
風力	2名	宇和島水産高2名
表彰	2名	宇和高2名
庶務	4名	宇和高2名・宇和島東高2名

テント・跳躍マット・投てき囲いを7：30頃から設営します。ご協力をお願いします。

7：30より設営いたしますので跳躍審判の指示に従い各校お手伝いください。

各競技終了後に使用用器具及び施設を収納しますが、その際は必ず競技場職員の指示に従い、所定の位置に収納するようお願いします。決して勝手に戻さないようにしてください。